

《いわぎん》データ伝送サービス

レコード・フォーマット

説 明 書

株式会社 岩手銀行

目 次

1. 概 要	1
2. 前提条件	1
3. データファイル構造	1
4. 総合振込、給与(賞与)振込、預金口座振替(処理結果)の場合の レコード・フォーマット	
(1) ヘッダー・レコード	2
(2) データ・レコード	
①【総合振込、給与(賞与)振込の場合】	3
②【預金口座振替の場合】	4
(3) トレーラ・レコード	
①【総合振込、給与(賞与)振込の場合】	5
②【預金口座振替の場合】	5
(4) エンド・レコード	5
5. 入出金取引明細通知の場合のレコード・フォーマット (普通預金・当座預金・貯蓄預金)	
(1) ヘッダー・レコード	6
(2) データ・レコード	7
(3) トレーラ・レコード	8
(4) エンド・レコード	8
6. 振込入金通知の場合のレコード・フォーマット	
(1) ヘッダー・レコード	9
(2) データ・レコード	10
(3) トレーラ・レコード	10
(4) エンド・レコード	10
7. 地方税納入の場合のレコード・フォーマット	
(1) ヘッダー・レコード	11
(2) データ・レコード	11
(3) トレーラ・レコード	12
(4) エンド・レコード	12
8. カナ文字表記項目の留意事項	13
9. 略語の使用方法	13

1. 概要

この資料は、《いわぎん》データ伝送サービスにおける「総合振込」、「給与（賞与）振込」等のデータを、お客様のパソコン等と岩手銀行のコンピュータ間で送受信する場合のレコード・フォーマットについてとりまとめたものです。

パソコンの給与計算ソフトで作成した振込データやお取引先への振込データを、この資料に基づいて作成することにより、直接銀行へ送信することができます。

また、ご契約の口座に発生した取引の明細を受信してファイルに格納し、他のソフトで利用することができます。

2. 前提条件

(1) データファイル

MS-DOSフォーマットとします。

(2) コード区分の扱い

ヘッダーレコードで指定するコード区分は、JISまたはEBCDICとします。

※インターネットEBサービス「ビジネスWeb」はEBCDIC非対応のため、JISコードで作成してください。

(3) キャラクタコードの扱い

全銀フォーマットで指定するキャラクタデータ入力項目は「英数カナ」のみで、漢字データおよびカナ小文字は取り扱うことができません。

3. データファイル構造

(1) 送信ファイルの構造

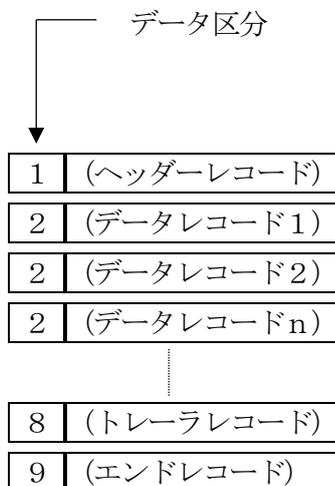
送受信データのファイル構造は以下の通りです。

① ファイルの形式

MS-DOSで扱うことができる固定長レコードより構成される順編成ファイルとします。ただし、レコード長はデータ種別により決定します。

② ファイルの構成

各レコードの先頭1バイトの「データ区分」によりレコードを識別し、以下のレコードにより構成されます。



4. 総合振込、給与（賞与）振込、預金口座振替（処理結果）の場合のレコード・フォーマット

(1) ヘッダー・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「1」：ヘッダー・レコード
2	種別コード	N (2)	「21」：総合振込 「11」：給与振込 「12」：賞与振込 「91」：預金口座振替
3	コード区分	N (1)	「0」：JISコード、「1」：EBCDIC ※ビジネスWebはEBCDIC非対応です。
4	振込依頼人コード (委託先コード)	N (10)	銀行より通知のコード 右詰め残り前「0」とする。
5	振込依頼人名 (委託先名)	C (40)	①会社名をカナ・英数字で入力。 ②左詰め残りスペースとする。
6	振込（引落）日	N (4)	①月、日を記録する。 ②右詰め残り前「0」とする。 (例) 3月3日→「0303」 ③銀行営業日とする。 定例日が土日祭日に該当し、ずれ込む場合は実際の振込（引落）日を記録する。
7	仕向（取引）銀行コード	N (4)	「0123」：岩手銀行
8	仕向（取引）銀行名	C (15)	「イワテ」左詰め残りスペースとする。
9	仕向（取引）支店番号	N (3)	銀行より通知の統一支店番号
10	仕向（取引）支店名	C (15)	銀行より通知の統一店名をカナ・英数字で記録する。左詰め残りスペースとする。
11	預金種目（委託者）	N (1)	「1」：普通預金 「2」：当座預金 「9」：その他
12	口座番号（委託者）	N (7)	総合振込・給与（賞与）振込の場合には資金決済 口座、口座振替の場合には資金入金口座を記録する。
13	ダミー	C (17)	「スペース」を記録する。

(120 バイト)

(注) N（数字項目）は右詰めとし、残りは「0」とする。

C（カナ項目）は左詰めとし、残りはスペースとする。

(2) データ・レコード

①【総合振込、給与(賞与)振込の場合】

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「2」:データ・レコード
2	被仕向銀行コード (引落銀行コード)	N (4)	統一金融機関コードを記録する。
3	被仕向銀行名 (引落銀行名)	C(15)	統一金融機関名をカナ・英数字で記録する。 左詰め残りスペースとする。
4	被仕向支店番号 (引落支店番号)	N (3)	統一店番号を記録する。
5	被仕向支店名 (引落支店名)	C(15)	統一店名をカナ・英数字で記録する。 左詰め残りスペースとする。
6	ダミー	C (4)	「スペース」を記録する。
7	預金種目	N (1)	「1」:普通預金 「2」:当座預金 「4」:貯蓄預金(総合振込のみ可) 「9」:その他(総合振込のみ可)
8	口座番号	N (7)	右詰め残り前「0」とする。
9	受取人名	C(30)	金融機関届出名義をカナ・英数字で記録する。左詰め残りスペースとする。 《注》「8. カナ文字表記項目の留意事項」参照のこと。
10	振込金額	N(10)	円単位で記録する。 右詰め残り前「0」とする。
11	新規コード	N (1)	「1」:第1回振込分 「2」:変更分(被仕向銀行、支店、預金種目、 口座番号等) 「0」:その他
12	顧客コード1	N(10)	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コード を表す。
13	顧客コード2	N(10)	
※ 12~13 (再定義)	EDI情報	C(20)	項番15の識別表示欄に「Y」表示を付した場合には、本欄の内容は「依頼人から受取人に対して通知するEDI情報」を表す。 左詰め残りスペースとする。
14	総合振込の場合 「振込指定区分」 給与(賞与)振込の場 合はダミー	C (1)	「7」:テレ振込 「8」:文書振込 「スペース」を記録する。
15	識別表示 (『総合振込』時使用) 給与(賞与)振込の場 合はダミー	C (1)	「Y」または「スペース」とする。 本欄に「Y」表示を付した場合は、項番12・13 の項目内容は「EDI情報」を表す。 「スペース」を記録する。
16	ダミー	C (7)	「スペース」を記録する。

(120バイト)

②【預金口座振替の場合】

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「2」:データ・レコード
2	引落銀行コード	N (4)	統一金融機関コードを記録する。
3	引落銀行名	C(15)	統一金融機関名をカナ・英数字で記録する。 左詰め残りスペースとする。
4	引落支店番号	N (3)	統一店番号を記録する。 右詰め残り前「0」。
5	引落支店名	C(15)	統一店名をカナ・英数字で記録する。 左詰め残りスペースとする。
6	ダミー	C (4)	「スペース」を記録する。
7	預金種目	N (1)	「1」:普通預金 「2」:当座預金
8	口座番号	N (7)	右詰め残り前「0」。
9	預金者名	C(30)	金融機関届出名義をカナ・英数字で記録する。 左詰め残りスペース。
10	引落金額	N(10)	円単位で記録する。 右詰め残り前「0」とする。
11	新規コード	N (1)	「1」:第1回引落分 「2」:変更分(引落銀行、支店、預金種目、 口座番号等) 「0」:その他
12	顧客番号	N(20)	委託者が定めた顧客番号を表す。 右詰め残り前「0」とする。 (注)顧客番号以外のものを記載しない。
13	振替結果コード	N (1)	①依頼明細時は「0」を記録する。 ②振替処理を行った結果を次のコードで表す。 「0」:振替済 「1」:資金不足 「2」:預金取引なし 「3」:預金者の都合による振替停止 「4」:預金口座振替依頼書なし 「8」:委託者の都合による振替停止 「9」:その他
14	ダミー	C (8)	「スペース」を記録する。

(120バイト)

(3) トレーラ・レコード

①【総合振込・給与(賞与)振込の場合】

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「8」:トレーラ・レコード
2	合計件数	N (6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの合計金額
4	ダミー	C(101)	「スペース」を記録する。

(120バイト)

②【預金口座振替の場合】

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「8」:トレーラ・レコード
2	合計件数	N (6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの合計金額
4	振替済件数	N (6)	◎依頼明細では全て「0」とする。 ◎結果明細では、各項目について銀行が記録して返却する。(右詰め残り前「0」)
5	振替済金額	N(12)	
6	振替不能件数	N (6)	
7	振替不能金額	N(12)	
8	ダミー	C(65)	

(120バイト)

(4) エンド・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「9」:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	「スペース」を記録する。

(120バイト)

5. 入出金取引明細通知の場合のレコード・フォーマット(普通預金、当座預金、貯蓄預金)

(1) ヘッダー・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「1」:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N (2)	業務種別を表す。 「03」:入出金取引明細
3	コード区分	N (1)	使用コード区分を表す。 「0」:JISコード、「1」:EBCDIC
4	作成日	N (6)	データ作成日を表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
5	勘定日(自)	N (6)	勘定日の期間を表す(和暦)。 YYMMDD ただし、営業日単位で通知する 場合は(自)(至)を同一年月日 YYMMDD とする。
6	勘定日(至)	N (6)	
7	銀行コード	N (4)	統一金融機関番号 「0123」:岩手銀行
8	銀行名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
9	支店コード	N (3)	統一支店番号
10	支店名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
11	ダミー	N (3)	将来の拡張用の予備エリア 全て「0」とする。
12	預金種目	N (1)	預金種目を表す。 「1」:普通預金 「2」:当座預金
13	口座番号	N(10)	取引口座番号 右詰め残り前「0」で表す。
14	口座名	C (40)	左詰め残りスペースとする。
15	貸越区分	N (1)	取引前残高の状態を表す。 「1」:プラス 「2」:マイナス
16	通帳・証書区分	N (1)	取引が通帳によるか証書によるかの区分を示す。 「1」:通帳 「2」:証書
17	取引前残高	N(14)	右詰め残り前「0」で表す。
18	ダミー	C(71)	スペースとする。

(200バイト)

(2) データ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N(1)	「2」:データ・レコード
2	照会番号	N(8)	銀行が採番した照会用番号 右詰め残り前「0」で表す。
3	勘定日	N(6)	勘定日を表す(和暦)。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
4	預入・払出日	N(6)	入金・出金の起算日を表す(和暦)。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
5	入払区分	N(1)	入出金の状態を表す。 「1」:入金 「2」:出金
6	取引区分	N(2)	取引形態を表す。 10:現金 11:振込 12:他店券入金 13:交換(取立入金および交換払) 14:振替 18:その他 19:訂正
7	取引金額	N(12)	右詰め残り前「0」で表す。
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額 右詰め残り前「0」で表す。
9	交換提示日	N(6)	証券類の交換提示日を表す(和暦)。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
10	不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日を表す(和暦)。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
11	手形・小切手区分	N(1)	手形・小切手の種別を表す。 「1」:小切手 「2」:約束手形 「3」:為替手形

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
12	手形・小切手番号	N (7)	右詰め残り前「0」で表す。
13	僚店番号	N (3)	取引のあった店を表す。(統一店番号)
14	振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込 依頼人の識別コードとする。 右詰め残り前「0」で表す。
15	振込依頼人名	C(48)	入払区分が「1」(入金)の場合 振込依頼人名(左詰め残りスペースとする)
16	仕向銀行名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
17	仕向店名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
18	摘要内容	C(20)	摘 要
19	E D I 情 報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情 報とする。 左詰め残りスペースとする。
20	ダミー	C (1)	スペースとする。

(200バイト)

(3) トレーラ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「8」:トレーラ・レコード
2	入金件数	N (6)	右詰め残り前「0」で表す。
3	入金額合計	N(13)	
4	出金件数	N (6)	
5	出金額合計	N(13)	
6	貸越区分	N (1)	取引後残高の状態を表す。 「1」:プラス 「2」:マイナス
7	取引後残高	N(14)	右詰め残り前「0」で表す。
8	データ・レコード件数	N (7)	データ・レコードの総件数 右詰め残り前「0」で表す。
9	ダミー	C(139)	スペースとする。

(200バイト)

(4) エンド・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「9」:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	右詰め残り前「0」で表す。
3	口座数	N (5)	右詰め残り前「0」で表す。
4	ダミー	C(184)	スペースとする。

(200バイト)

6. 振込入金通知の場合のレコード・フォーマット

(1) ヘッダー・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「1」:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N (2)	業務種別を表す。 「01」:振込入金通知
3	コード区分	N (1)	使用コード区分を表す。 「0」:JISコード、「1」:EBCDIC
4	作成日	N (6)	データ作成日を表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
5	勘定日(自)	N (6)	勘定日の期間を表す(和暦)。 YYMMDD ただし、営業日単位で通知する 場合は(自)(至)を同一年月日 YYMMDD とする。
6	勘定日(至)	N (6)	
7	銀行コード	N (4)	統一金融機関番号 「0123」:岩手銀行
8	銀行名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
9	支店コード	N (3)	統一支店番号
10	支店名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
11	預金種目	N (1)	預金種目を表す。 「1」:普通預金 「2」:当座預金
12	口座番号	N (7)	取引口座番号 右詰め残り前「0」とする。
13	口座名	C (40)	左詰め残りスペースとする。
14	ダミー	C(93)	スペースとする。

(200バイト)

(2) データ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N(1)	「2」:データ・レコード
2	照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号 右詰め残り前「0」で表す。
3	勘定日	N(6)	勘定日を表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
4	起算日	N(6)	入金の起算日を表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
5	金額	N(10)	右詰め残り前「0」で表す。
6	うち他店券金額	N(10)	入金額中の他店券金額 右詰め残り前「0」で表す。
7	振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込 依頼人の識別コードとする。 右詰め残り前「0」で表す。
8	振込依頼人名	C(48)	左詰め残りスペースとする。
9	仕向銀行名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
10	仕向店名	C(15)	左詰め残りスペースとする。
11	取消区分	N(1)	振込入金通知を取消す場合に使用する。 「1」:取消
12	EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI 情報とする。 左詰め残りスペースとする。
13	ダミー	C(52)	スペースとする。

(200バイト)

(3) トレーラ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N(1)	「8」:トレーラ・レコード
2	振込合計件数	N(6)	右詰め残り前「0」で表す。
3	振込合計金額	N(12)	右詰め残り前「0」で表す。
4	取消合計件数	N(6)	右詰め残り前「0」で表す。
5	取消合計金額	N(12)	右詰め残り前「0」で表す。
6	ダミー	C(163)	スペースとする。

(200バイト)

(4) エンド・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N(1)	「9」:エンド・レコード
2	ダミー	C(199)	スペースとする。

(200バイト)

7. 地方税納入の場合のレコード・フォーマット

(1) ヘッダー・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「1」：ヘッダー・レコード
2	種別コード	N (2)	「99」：地方税納入
3	コード区分	N (1)	「0」：JISコード、「1」：EBCDIC ※ビジネスWebはEBCDIC非対応です。
4	委託者コード	N (10)	銀行より通知のコード
5	取引支店番号	N (3)	取引支店の番号
6	納付期限	N (6)	「年・月・日」(和暦)
7	納付月分	N (4)	「年・月」(和暦)
8	特別徴収義務者名	C (40)	20桁ずつ2桁で表示
9	特別徴収義務者の所在地	C (50)	15・15・20桁ずつ3行で表示
10	ダミー	C (3)	「スペース」

(120バイト)

(2) データ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「2」：データ・レコード
2	市区町村コード	N (6)	
3	市区町村名	C (15)	
4	指定番号	C (15)	市区町村指定の番号
5	移動の有無	N (1)	「0」：移動無、「1」：移動有
6	給与税額	件数	N (5)
		金額	N (9)
7	退職税額	件数	N (5) 「00000」
		金額	N (9) 「000000000」
8	合計税額	件数	N (5)
		金額	N (9)
9	退職明細	人員	N (3) 「000」
		支払金額	N (10) 「0000000000」
		市町村民税	N (9) 「000000000」
		都道府県税	N (9) 「000000000」
10	ダミー	C (9)	「スペース」

(120バイト)

(注) 退職に伴う地方税の納入はご利用できません。

(3) トレーラ・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「8」:トレーラ・レコード
2	給与税額合計	件数	N (7)
		金額	N(11)
3	退職税額合計	件数	N (7)
		金額	N(11)
4	税額合計	件数	N (7)
		金額	N(11)
5	ダミー	C(65)	スペース

(120バイト)

(4) エンド・レコード

記録 順序	項 目	桁 数	記 録 内 容
1	データ区分	N (1)	「9」:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	スペース

(120バイト)

8. カナ文字表記項目の留意事項

(1) 仕向支店名／被仕向銀行名／被仕向支店名

- ① 統一金融機関名のカナ入力部分については、カナ小文字の使用はできない。
- ② 左詰めとし、残りスペースを記録する。

(2) 委託者名(＝振込依頼人名)

- ① 委託者名のカナ入力部分については、カナ小文字の使用はできない。
- ② 左詰めとし、残りスペースを記録する。

(3) 預金者名(＝受取人名)

- ① 金融機関届出名義を記録する。
- ② カナ入力部分については、カナ小文字の使用はできない。
- ③ 左詰めとし、残りスペースを記録する。
- ④ 個人の姓および名、法人または営業所の種類名および名称は、それぞれ分ち書きをしない。

個人の姓と名、法人の種類と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間スペースを入れて分ち書きする。

ただし、後記「8. 略語の使用方法」により略語を使用する場合には、スペースに代えてカッコを使用する。

〈例〉・個人の場合 山本 一郎 → ヤマモト△イチロウ

・法人の場合 株式会社 山本商店東京支店

→ カブシキカイシヤ△ヤマモトシヨウテン△トウキヨウシテン

* * *

(注) *印…カナ小文字は使用できない

9. 略語の使用方法

法人・営業所および事業所の種類名は、つぎの用法に基づき略語を使用することができます。

- (1) 法人略語および営業所略語は、略語判別表示としてカッコを付して使用します。なお、事業略語には、略語判別表示は付さないことといたします。

また、冠頭語と事業略語とは続けて記入し、分ち書きはできません。

〈例〉・カ)ヤマモトシヨウシ

・ヤマモトシヨウシ(カ)トウキヨウ(エイ)

・ヤマモトシヨウシ(カ)

- (2) 略語の使用は1法人名につき1個とします。ただし、法人略語、事業略語および営業所略語のそれぞれを組合せて併用してもかまいません。

〈例〉「昭和火災海上保険株式会社 名古屋営業所」

→ 「シヨウワカサイ(カ)ナゴヤ(エイ)」

振込における法人・営業所・事業略語一覧表

(2019年9月1日現在)

用 語	略 語	用 語	略 語
〔1. 法人略語〕		〔2. 営業所略語〕	
株式会社	カ	営業所	エ
有限会社	ユ	出張所	シ ユ
合資会社	メ		イツ
合同会社	シ	〔3. 事業略語〕	
医療法人	ド	連合会	レ
財団法人	イ	共同組合	キ ヨ
財団法人	ザ	共同組合	キ ヨ
財団法人	シ	生命保険	セ イ
宗教法人	ユ	海上火災	カ イ
学 校 法 人	ガ	海上火災	カ イ
社会福祉法人	フ	健康保険	ケ
更生保護法人	ホ	国民健康	コ
相互会社	ソ	国民健康	コ
特定非営利活動法人	ク	社会保険	シ
独立行政法人	ド	厚生年金	コ
弁護士法人	ベ	従業員	ジ
有限責任中間法人	チ	労働組	ロ
無限責任中間法人	チ	生活協	セ
行政書士法人	ギ	食糧販	シ
司法書士法人	シ	国家公務	コ
税理士法人	ゼ	農業協	ノ
国立大学法人	ダ	経済農	ケ
農事組合法人	ノ	共済農	キ
公立大学法人	ダ	漁業協	ギ
管理組合法人	カ	漁業協	ギ
社会保険労務士法人	ロ	公 共 職	シ
中期目標管理法	モ	社会福	シ
国立研究開発法人	ケ	特別養	ト
行政執行法人	シ	有限責	ユ

※1. 医療法人社団・医療法人財団・社会医療法人を含む

※2. 一般財団法人・公益財団法人を含む

※3. 一般社団法人・公益社団法人を含む

1. [1. 法人略語] [2. 営業所略語] は、略語にカッコを付して使用する。
 - ・略語の前に文字がない場合 (株)岩手建設 → カイワテケンセツ
 - ・略語の後に文字がない場合 岩手商事(株) → カイワテシヨウジ
 - ・略語の後に文字がある場合 岩手食品(株)久慈営業所 → カイワテシヨクヒン カクジ エイ
2. [3. 事業略語] は、カッコを付さず法人固有名称と続けて使用する。
 - ・岩手生命保険 → カイワテセイメイ 市民生活協同組合 → カシミンセイキヨウ